

JARL

倉敷クラブ報

第338号

2018年10月13日（土）



JARL 倉敷クラブ（登録番号31-1-1）

クラブ局 JA4YAB

<http://www.jarl.com/ja4yab/>

クラブ代表者 土井 淳（JE4NHC）

〒710-0005 倉敷市西岡1073

目 次

はじめに	JA4KI	1
お知らせ	出稿JA4KI	2
NEWS	出稿JA4KI	3
第42回アマチュ無線フェステバル／ ハムフェアフェステバル2018 見学記	JA4KI	4

次回定例ミーティングのお知らせ

日 時：2018年12月08日（土）13時30分～

場 所：倉敷市西岡荘（駐車場あり）

次回以降の定例ミーティングは原則として偶数月の第2土曜日にあります

倉敷クラブの管理するレピータ

JR4WH 439.76MHz （運用責任者：JH4E00）

倉敷クラブ役員

	会 長（代表者）	JE4NHC		
会 計 担 当	JH4GNE	ミーティング 担当	JA4TI	
監 査 担 当	JH4E00	ミーティング 担当	JR4BXX	
庶 務 担 当	JL4TTY	ク ラ ブ 報 担当	JA4AJB	
アワード 担 当	JL4TTY	ク ラ ブ 報 担当	JH4GNE	

クラブ報の原稿はミーティングの2週間程度前迄に、クラブ報担当まで
Eメールでもし出来ない時は持参でお願いいたします 原稿の寸法は
表紙の外枠（13.5×21.5cm）です クラブ報担当 JA4AJB.JH4GNE

クラブ報はミーティングの会場にはございませんので定例ミーティング
までに然るべき方法にて受領され定例ミーティングにご持参下さい

アマチュ無線ほか無線関係の国家試験情報は倉敷クラブのホームページ
下部「関連先のホームページ」の中にある 日本無線協会(J.R.I.)に
ありますので、関心のある方は協会のページに行ってください

はじめに

J A 4 K I 吉岡 謙

私は、20年以上前までは、JARLが行っていた当時のアマチュア無線技士養成講習会に関係していた。

その講習会の最後には、修了試験という試験があり、その試験で、60%以上の得点を取れば終了になって修了証明書が発行されて、その終了証明書によって免許証が発給されていた。

修了試験は、試験の時に問題用紙をJARLの職員が持ってきて実施するために、講義している講師にはどの問題が出るのかは判らない。

しかし、その試験の内容については、当時の郵政省告示で、例えば、法規ならば、運用から5問というように、内容と問題の数は決まっています、JARLは、内容に合致した問題を、出題される問題数の何倍か作成しておいて、それを元にして実際の問題と同じ様式や問題配分に合わせた模擬問題集を作り、講義の副教材として使って講義した。

だから、修了試験は、その副教材である問題集から出題されるわけで、受講生はどのような問題が出るかを、全部講義中に習って知っているわけであって、判らないのは、その問題集のどの問題が出るかだけであった。

その為に、普通に講義を聴いて居れば、終了しないわけが無いのだが、残念ながら県下で年に何名かは終了できない者が出た。

そこで、JARLはその人達を、年一回だけ岡山へ集めてその人達に再度要点を講義して再試験を受けさせるという、実に親切なコースを開講して、その再試験の為のコースの講習の講師として、私が依頼されて、何度かその講習を担当したことがある。

その際私は、それらの受講生に対して、彼ら自身の反省の意味も込めて、「あなたは、どうして終了できなかったと思うか？」と尋ねたことがあるが、何とその答えの半数以上は「試験に、講習で習ったことが一つも出なかった。」という返事で、これにはただただ唾然とするほか無く、よくこれだけの嘘が平気で言えるものだと、腹立たしささえ感じた。

要するに、講習会は受講したが、心はあらぬ方であって、講師が話すことの、教科書や問題集の説明などを、全く聞いて理解していない人達だったのである。

QSOした時に、全く話がかみ合わない人と出くわすことがある。例えば、QSLカードの交換は、どのような方法で行うのかについて尋ねても、尋ねられた意味が理解できないらしく、返事が無いというふうに、こちらが話したことに、全く返答しない人があるが、講習会を修了できなかった人達と、共通するところがあるように思う。

アマチュア無線という趣味は、他局と交信して楽しむというコミュニケーションそのものの趣味であり、リグなどのその為に必要なその他のことは、良好にコミュニケーションするための補助的なことであると思うので、コミュニケーションが上手く取れなければ、アマチュア無線は成立しないということ、よく知って欲しい。

お 知 ら せ

◎ J A 4 A M河野さんがお亡くなりになりました

元倉敷クラブメンバーのJ A 4 A M河野新一郎さんが、8月12日にお亡くなりになりました。

終戦後アマチュア無線が再開されたときに、倉敷市内で最初にアマチュア局の免許を取得された方で、ご子息は、J E 4 G S Q河野 宏さんです。

謹んでご冥福をお祈りいたします。 (出稿 JA4KI)

◎ アマチュア無線技士国家試験

・第一級・第二級アマチュア無線技士

次の試験期は12月期で、試験日は、一アマは12月1日(土)、二アマは、12月2日(日)です。

受験申請は10月1日(月)から22日(月)までで、受験する試験地を管轄する日本無線協会宛に申請して下さい。インターネットによる申請も同じです。

試験地は、各総合通信局の所在地(沖縄は那覇市)で、住所地に関わりなく、日本国中どこで受けても構いません。

試験開始時刻は、法規 09:30 無線工学 13:00です。

詳しくは、本誌4月号末尾の国試予定表をご覧ください。

・第三級・第四級アマチュア無線技士

近隣の試験地での試験月日	大阪	10月21日(日)
		11月18日(日)
		12月 2日(日)
	広島	11月11日(日)
	松山	11月18日(日)

となっておりますが、11月期までの受験申請の受付は既に先月までに終わっています。

12月期の受験申請は、10月1日(月)~22日(月)までで受験する試験地を管轄する日本無線協会宛に申請して下さい。インターネットによる申請も同じです。

岡山市で一年に一回開催されている、三・四級アマ技士国家試験は、来年1月の申請受付で、試験は3月3日(日)です。

試験開始時刻などその他詳細については、本誌4月号末尾の国試予定表をご覧ください。

(出典 日本無線協会アマ技士国試案内 出稿 JA4KI)

◎ハムフェア2018開催された

わが国アマチュア無線界の最大イベントであるハムフェア2018は、8月25日(土)と26日(日)の二日間、東京都江東区にあるビッグサイト西2ホールで盛大に開催され、2日間の見学者は、約37,000名に達しました。

くわしいことについては、JARL WEBをご覧ください。

なお別項に、恒例のJA4KIによる見学記がありますので、合わせてご覧ください。(出稿 JA4KI)

◎JARL岡山県支部会議開催

岡山県支部行事予定にあるJARL岡山県支部会議は、真庭市の北房文化センターで、10月28日(日)に開催されます。

予定では、午前10時から岡山県支部役員による会議で、午後1時から、支部役員の他に、各登録クラブ代表者の参加を得て、支部連絡会が開催されます。

なお、会場の都合で、午前と午後では会議室が異なる予定ですので、ご注意下さい。(出稿 JA4KI)

◎第31回オール岡山コンテスト開催された

既に広報されたとおり、9月9日(日)09:00~21:00に実施されました。

詳細は、JARL岡山県支部HPをご覧ください。(出稿 JA4KI)

◎10月は受信環境クリーン月間です

10月1日から31日迄は、受信環境クリーン月間です。TVのデジタル化などによって、以前のアナログTVにあったようなTVIは殆どなくなりましたが、最近では、太陽光発電のインバーターや、電力会社が家庭に設置する電力計(スマートメーター)などによる受信障害も報告されています。

自分のTVラジオやリグだけでは無く、広範囲に目を向けて障害の無いように心がけましょう。(出稿 JA4KI)

第42回アマチュア無線フェスティバル／

ハムフェア2018 見学記 JA4KI 吉岡 謙

今年のハムフェアは、昨年の9月開催とは違って、例年どおりの8月最終の土・日曜日の25・26日に開催されることになっているので、二日目の8月26日(日)に出発して上京し見学することにした。

26日は03:30に起床して早い朝食を摂り支度して、家を5時過ぎに出て、息子のJR4JAXに車で倉敷駅まで送ってもらい、倉敷発05:30の山陽線上りで岡山へ出て、岡山から山陽新幹線、新大阪で東海道新幹線に乗り継いで、10:10東京駅に着いた。

東京駅から、ハムフェアの会場の東京ビッグサイトまでは、いつものように都バスの東16系統を利用することになっているので、八重洲南口へ出て、ロッカーへ荷物を預けて、駅舎を出てバス乗り場を見たら、10番乗り場には誰も居ない。もしや東京ビッグサイト行きのバス乗り場が変更になっているのではないかと、バスの案内をしていた男性に尋ねたら、ビッグサイト行きは今出たばかりで、乗り場は変わっていないとのことだった。

次発は10:31なので、バス停で待ったが、遅れているようで、10:35にようやく発車して、東京ビッグサイトには11:14頃に到着した。

すぐビッグサイトの建物に入った。今年は例年どおりの「西2」なので、迷うこと無く会場に向けて100m程の通路を歩いたが、「西2」のアトリウムへ入るまでの通路にいる人は私だけで、他に人は居なかった。

メインゲートの横の発券カウンターへ行き、会員証を呈示して¥1,500の入場整理券を500円引きの1000円でゲットした。なお、22歳未満の青少年と女性は無料になっている。初日だと、発券カウンターには、午後になっても長い行列ができていたのだが、2日目のありがたいところで、待つことなく入場整理券を求めることができた。券番はNo.006642だった。

整理券へのコールサインと氏名の記載は、毎年どおりテープライターで打った物を持参して、整理券の所定の所へ貼り付けた。

後日のJARLの発表では、初日の入場者数は約27,000名、二日目は初日の半分以下の、約12,000名で、二日間の

合計は、昨年とほぼ同じ約39,000名だった。

インフォメーションでガイドブックを貰い、3ページの記念スタンプ欄に記念スタンプを押した。

ガイドブックによれば、ハムフェア2018は、5つのブロックに分けられている。

AブロックはJARLコーナーで、A-01からA-21まで21のコーナーがある(昨年+3)。A-09のイベントコーナーでは、二日間にわたって、11:00から17時前頃まで、プログラムに従って、11のイベントが行われる。A-17~21は、外国5カ国のコーナーで、インドネシア、マレーシア、ドイツ、韓国、タイのアマチュア無線連盟が出展していた。

Bブロックはビジネスコーナーで、B-01からB-26まで26のコーナーがある(昨年+2)。

Cブロックはクラブ(一般展示)コーナーで、C-001からC-110まで110のコーナーがある(昨年-4)。

Jブロックはクラブ(純粹展示・発表)コーナーで、J-01からJ-81まで81のコーナーがある(昨年-2)。

DブロックはJAIAコーナーで、D-01からD-05まで、JAIAメンバーの9社の中から5社が出展している(昨年と同じ)が、Bブロックに出展している社もあった。

他に、フードコーナーとして、飲食物を販売する会社が2社(昨年と同じ)入っていた。

ハムフェアの行事の一環として毎年行われている、日本無線協会の当日受付即日結果発表の、第三・四級アマチュア無線技士臨時国家試験は、昨日東京ビッグサイト会議棟6Fで実施された。

先ず我が母校の明治大学アマチュア無線部の「明治大学高周波」のブースへ行った。ブースへは、毎年このブースへ話めてくれている私とは親子ほど年が違うJL1LNC納村さん達がいたので、持参した土産を「ご苦労さん」と手渡して、写真を撮ったり、撮ってもらったりした。

ビジネスコーナーのYAESUのブースへ、JE4HBP/JA1AGSの山本さんを訪ねて行って、7月の岡山県支部大会が豪雨水害のために取りやめになったことについて説明したら、快く了承してくださって、YAESUのキャップをくださった。

JARLのハムフェアの運営センターへ行って、先に購入した

JARL販売品の代金や送料を支払ったら、領収書をくれた。

私は、朝食を 03:30 に摂っていたので、かなり空腹になっていた。会場を出て2Fの人工土地へ上がって、そこにあるコンビニで昼食や飲み物を買って、大きなテーブルや椅子がいっぱい並んでいる風通しのいい大きな屋根の下で食べた。

会場へ戻って、ハムフェア特別記念局 8 J 1 HAM と Q S O することにして、持参した V・UHF トランシーバーで、J A 4 K I / 1 と J A 1 B R P / 1 で、一番空いていると思われる 1200MHz 帯で 13:04 に Q S O した。続いて 145MHz 帯で 13:12 に、最後は 430MHz 帯で 13:15 に Q S O した。12時台は Y L オペレーター専用で運用されたことを後で知ったが、文字通り後の祭りだった hi。

総務省の電子申請のブースが、記念局のブースの向かい側にあったので、アンケートに答えたら、帆布製のトートバッグと面白い形に変形する団扇をくれた。コールサインと局免有効期限が、3ピースプリントされているステッカーは、今年は復活していて、その中の1ピースはまあまあだったが、他の2ピースはものすごく小さい物になっていて NG だった。「電子申請・届出システムご利用の手引き」の最新版もくれた。

一昨年この会場で Q S O した 8 J 1 HAM からの Q S L カードが、来なかった件で、昨年善処して下さった 7 M 3 H Y T さんに、お礼を述べようと記念局のブースを尋ねたが、本日は地元の O S O 訓練のために、お見えになっていないとのことだった。しかし応対して下さった J H 1 L W P さんが確実に伝えて下さるとのことので、ホッとして記念局のブースを離れた。

ラジオ少年のブースでは、J A 8 A T G さんに持参した古切手を手渡した。

予定の行動は終わったようなので、毎年のように、見残している各コーナーの各ブースを見ながら、つながっているブースを、ブースの番号の若い順番からになるように、パネル単位で写真に撮ることにした。

J A I A コーナーでは、いつもの如く、悪い虫が起きないように、見ているか見ていないか分からないような見方をして、早めに通り過ぎた。

それぞれのブースでは、毎年のごとく、展示されているジャンクを手にとって、いろいろなことを尋ねたり値引き交渉をしたり、

ブースのメンバーが作って販売しているものを買求めたり、ただ展示されているものを見たり、ブースのメンバーとアイボールQSOを楽しんだり等々という具合に、入場者はそれぞれが多様な楽しみ方を満喫していたが、ありがたいことに、人気のブースでも二日目の為に、見学者が少なく、ゆっくりと見学することができて、前の人の肩越しにのぞき込む様なことは殆どなかった。

今年も会場内で、JA1BIR (ex JA4HA)、JA4DLF、JA4DQXの皆さんをはじめとして、多くの方々とお目にかかって、アイボールQSOをすることができたが、倉敷クラブのメンバーには残念ながらお目にかかれなかった。

毎年のように、今年も工作教室のブースを覗いたが、既に終わったらしく片付けが始まっていたので、通り過ぎた。

15時半を過ぎ頃に、会場を出た。

帰りは朝とは逆向きに、東京ビッグサイト発の臨時便の急行バスに乗り、終点の東京駅八重洲南口には、16時過ぎ頃に到着した。

ロッカーから荷物を出し、今夜の宿の、世界的に有名な秋葉原に近いところにある、我々の共済組合のホテルに行って、チェックインしてから、なにがしかの買い物に出て、ついでに夕食も買って帰って部屋で夕食を済ませた。

翌朝は8時頃にホテルをチェックアウトして、JRお茶の水駅から中央線で東京駅へ出た。帰りの新幹線は東京発 09:03 だが、折り返し便のため車内清掃が行われていて、発車数分前になってようやく乗車できた。

東海道新幹線は定刻に発車した。新神戸で山陽・九州新幹線に乗り継いで、岡山へは定刻どおり 12:54 に到着した。倉敷駅からは、家内のJG4SFJに迎えに来てもらった車で帰宅したが、エアコンが壊れている「暖房完備」の車で(9月4日には修理が終わりました)、暑くて閉口した。

来年は、8月31日(土)と9月1日(日)に、東京ビッグサイトで現在建設中の南展示棟3・4ホールで開催の予定になっているので、それまで元気で居て是非見学したいと思っている。